

# 第1章 札幌市のまちづくり

## ≫ 令和3年度予算

### 予算総額

#### ■ 令和3年度予算（一般会計、特別会計、企業会計）

##### ○ 予算の姿

令和3年度の予算総額は、1兆7,566億円（前年度比5.1%増）で、このうち一般会計が1兆1,140億円（前年度比8.2%増）、特別会計が3,749億円（前年度比1.0%増）、企業会計が2,677億円（前年度比0.9%減）となっています。

特別会計（国民健康保険、介護保険など）や企業会計（上下水道事業、高速電車（地下鉄）事業など）は、特定の事業を行うなど一般会計と区別して経理する必要がある場合に設けられている会計です。

一般会計の歳入は、みなさんに納めていただく市税の収入を柱に、地方交付税や国庫支出金、市債などの収入から成り立っています。

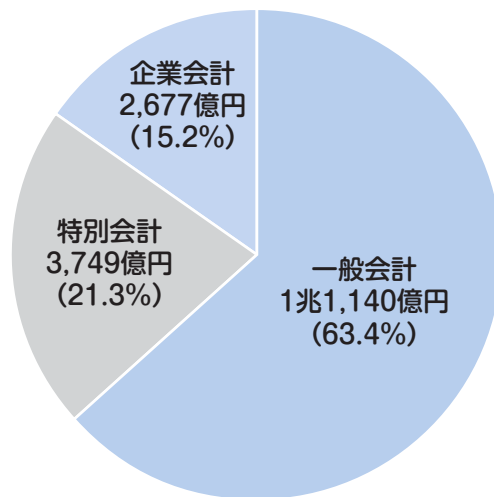
また、歳出は、社会福祉、児童福祉などに使われる保健福祉費（4,240億円）が最も多く、次いで職員費（1,561億円）、経済費（1,428億円）の順となっています。

##### ○ 自主財源と依存財源、一般財源と特定財源

自主財源とは、市税をはじめとして、諸収入、使用料・手数料など、市が自ら調達できる財源であるのに対し、依存財源とは、国庫支出金、地方交付税、市債などのように、国などに依存する財源をいいます。また、一般財源とは、市税、地方交付税など市がどの経費にも自由にあてることができる財源であるのに対し、特定財源は、国庫支出金や市債など、その性質により使い道が特定されている財源のことを言います。

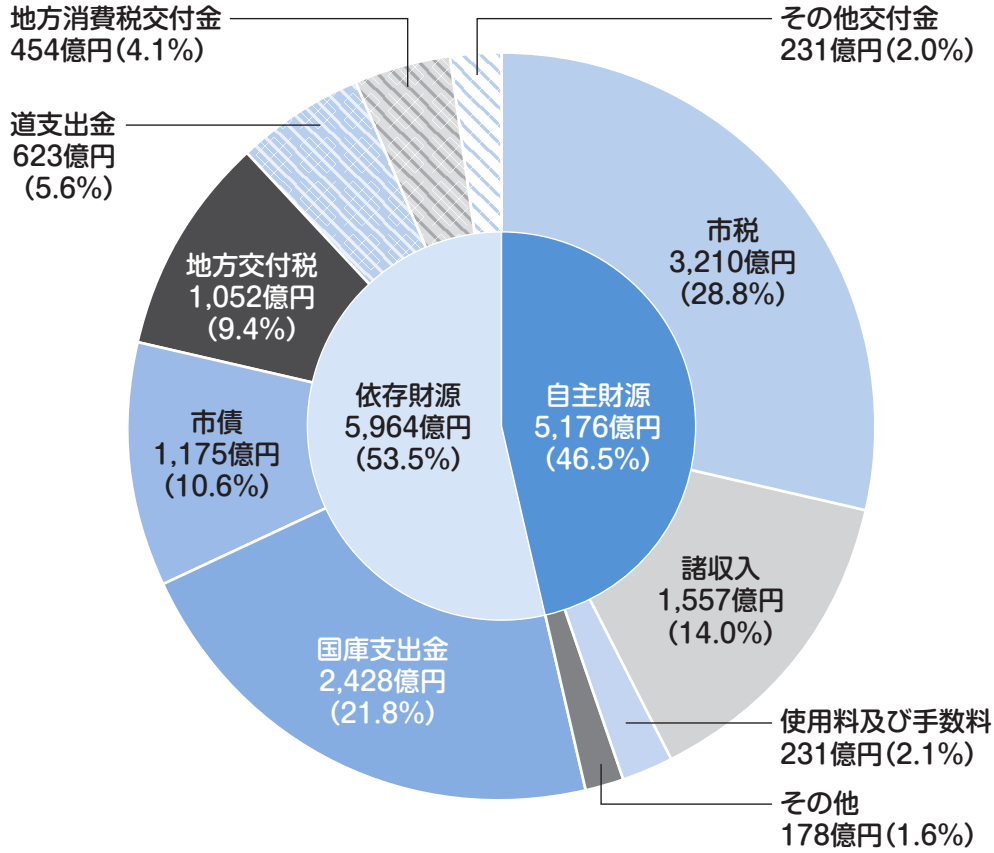
この点、自主財源であり、かつ一般財源である市税は、市が市民のみなさんと力を合わせ、自主的にまちづくりを進めるうえで、たいへん重要な役割を果たしています。

（注）1～2ページの文中およびグラフ中の数値は、原則として各計数ごとに四捨五入をして計算しています。したがって、文中およびグラフ中の数値とその内訳の合計値とは一致しない場合があります。

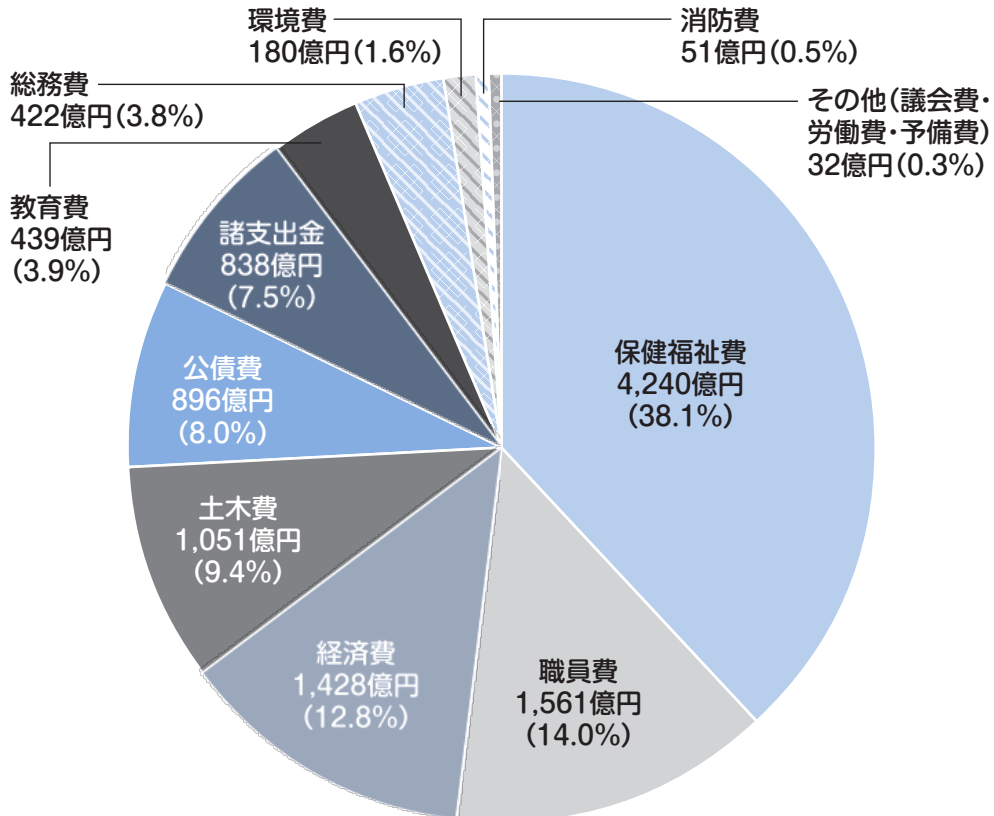


## ≫ 一般会計予算

### 歳入 1兆 1,140 億円



### 歳出 1兆 1,140 億円



## ≫ 令和3年度事業内容のあらまし

令和3年度予算は、新型コロナウイルス感染症など喫緊の課題への対応とウイズコロナ時代を見据えたまちづくりを着実に進める予算として編成しました。また、国の総合経済対策による有利な財源などを活用するため、令和2年度予算となる令和3年1定補正予算と一体的な予算としました。

札幌市を取り巻く財政環境は、扶助費や公共施設の更新需要の増加が見込まれる一方で、新型コロナウイルス感染症の影響により市税収入が減少に転じるなど、今後の収支見通しは楽観視できない状況です。

こうした状況を踏まえ、アクションプラン事業の見直しや既存事業の効率化により財源を確保し、将来世代に過度な負担を残さないよう留意した予算としました。

(注) 令和3年度予算は、令和2年度補正予算と一体的な予算としているため、以下の取組には補正予算の内容も含めて記載しています。

戻 日常へ めて まちづくり

～市民のいのちとくらしを守り、

新しい時代に即した社会経済活動への転換を加速！～

### ■ワクチンの接種

○新型コロナウイルス感染症を予防するためのワクチン接種（全市民×2回分）

新型コロナウイルス感染症予防接種費 9,502,000 千円

### ■相談・検査体制の確保

○新型コロナウイルス感染症対策のための相談・検査・移送体制の整備

関連予算 2,904,000 千円

### ■医療提供体制の強化

○感染症患者の入院医療費の公費負担

新型コロナウイルス感染症医療扶助費 504,000 千円

○保健所に医療対策室を設け、感染症対策をより円滑に進めるための体制を強化

医療対策室運営費 1,151,000 千円

### ■感染防止対策の徹底

○児童福祉施設や学校、地域コミュニティ施設等における感染症対策備品の購入等及び高齢者施設、障がい者施設等に係る施設改修補助等

関連予算 1,903,000 千円

○重症化リスクの高い方が入所する高齢者施設等の職員に対する予防的・定期的な検査

関連予算 595,000 千円

## ■事業の継続と雇用の下支え・働き方の転換

- 中小企業を対象とした新たな貸付資金の創設、信用保証料の一部補給等

【新型コロナウイルス関連新規融資枠 500 億円】

関連予算 89,622,000 千円

- 感染症の影響で離職等を余儀なくされた求職者 500 名を対象とした給付金付きの研修・実習等の再就職支援

さっぽろ給付金付き再就職支援事業費 141,000 千円

- 中小企業におけるテレワーク導入を推進するための相談窓口の運営及び導入経費の補助

関連予算 479,000 千円

## ■新しい社会経済活動の支援

- 中小企業が取り組む新分野進出、業態転換等の事業再構築に対する補助

中小企業ウイズコロナ対応支援費 302,000 千円

- 国内観光の誘致促進に向けた、ワーケーションなどの新たな旅行スタイルの推進や学校向けの教育旅行プログラムの企画等の実施

国内観光振興費 155,000 千円

- 市内宿泊施設が取り組む感染症対策や宿泊施設の業界団体が行う誘客策（割引クーポン発行等）に対する補助

関連予算 1,114,000 千円

## ■デジタル化の推進と市民サービスの向上

- 申請ポータルサイトの作成等による行政手続のオンライン化の推進及び行政事務センターの開設による事務の効率化

関連経費 186,500 千円

- マイナンバーカードの普及促進のため、土日や平日夜間も手続き可能なマイナンバーカードセンターを開設するほか、市内各所での出張申請受付の実施

関連予算 1,154,278 千円

- 小中学校における 1 人 1 台タブレット端末を使用した授業の環境整備及び低所得世帯の高校生に貸与するタブレット端末等の整備

関連予算 1,127,000 千円



～子どもたちが健やかに育ち、

誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせるまちへ！～

## ■子どもを生き育てやすい環境づくり

- 中学校修了前の子どもにかかる医療費の一部助成について、通院助成対象を小学校 6 年生まで拡大

子ども医療助成費 4,742,653 千円

- 不妊治療への助成に係る所得制限の撤廃及び助成額の拡大（1 回 15 万円→1 回 30 万円※）

※一部 7.5 万円→10 万円

不妊治療等支援費 569,063 千円

## ■学び・育ちの環境整備

- 増加する保育ニーズに対応するための保育所等の整備（施設整備による定員増：1,801人）  
関連予算 4,850,300 千円
- 公立夜間中学の令和4年度開校に向けた準備  
公立夜間中学関係費 46,000 千円

## ■児童相談体制の強化

- 増加する虐待通告や法令改正等に対応するため、仮称）第二児童相談所の設計に着手  
仮称）第二児童相談所整備費 242,000 千円
- 関係機関との情報共有システムの構築や、困難を抱える若年女性への支援等  
関連予算 72,000 千円

## ■医療的ケアが必要な児童への支援

- 児童会館への看護師配置を2館から3館に拡充  
児童会館運営管理費 8,800 千円
- 看護師を配置する民間保育所等への補助  
医療的ケア児保育支援補助金 16,000 千円

## ■暮らしを支える公共交通、除雪

- バス路線維持に係る補助金（感染症の影響等を踏まえ補助要件を単年度に限り緩和）等  
公共交通ネットワーク確保対策費 2,450,000 千円
- 冬のみちづくりプラン2018に基づく除雪に関する各種取組  
関連予算 21,702,266 千円

## ■誰もが暮らしやすいまちづくり

- 介護ロボットやICT導入など介護施設等の整備等に係る補助  
介護サービス提供体制整備促進補助金 974,000 千円
- 物販・飲食店、診療所等のバリアフリー化改修工事に係る補助  
民間公共施設バリアフリー化推進費 31,000 千円



## を乗り越えて成長を続けるまちづくり

～札幌を拠点とする企業への支援や人材育成により経済を活性化！

都心のリニューアルや地域の拠点整備により、  
魅力あふれるまちづくりを推進！～

## ■産業人材の育成・経済活性化

- 企業誘致PR、立地企業や立地環境整備に対する補助  
企業立地促進費 722,000 千円
- IT人材の育成と市内企業への定着及び中小企業のデジタル化の推進  
関連予算 25,000 千円

## ■ 2030 冬季オリンピック・パラリンピック招致に向けた取組

- 冬季大会招致に向けた機運醸成や、開催概要計画の更新、調査検討等  
関連予算 352,000 千円
- 東京 2020 大会のマラソン、競歩、サッカーの開催  
東京 2020 オリンピック・パラリンピック開催費 813,000 千円

## ■ 将来を見据えた魅力あるまちのリニューアル

- 札幌駅周辺のまちづくり推進  
北海道新幹線の延伸に関する工事費等の一部負担等  
関連予算 2,755,000 千円  
新幹線延伸に備えた北 5 西 1・西 2 地区の都市計画・基本設計・環境アセスメント等  
札幌駅交流拠点まちづくり推進費 995,000 千円
- 再開発事業による都市整備の推進  
北 3 東 11 周辺地区（2021 年度しゅん工予定）  
南 2 西 3 南西地区（2022 年度しゅん工予定）  
北 8 西 1 地区（2023 年度しゅん工予定）  
関連予算 5,576,000 千円
- 地域交流拠点・高次機能交流拠点の魅力向上  
新さっぽろ駅周辺、篠路駅周辺、札幌ドーム周辺、真駒内駅前地区まちづくり  
関連予算 2,644,200 千円  
うち特別会計計上分 330,000 千円

## ■ ゼロカーボン都市「環境首都・SAPPORO」を目指したまちづくり

- 水素サプライチェーン構築及び水素モデル街区形成のための計画策定等  
水素エネルギー利活用事業費 10,000 千円
- 市有施設で初めて ZEB Ready※を目指す、仮称) 動物愛護センターの設計  
仮称) 動物愛護センター整備費 41,000 千円

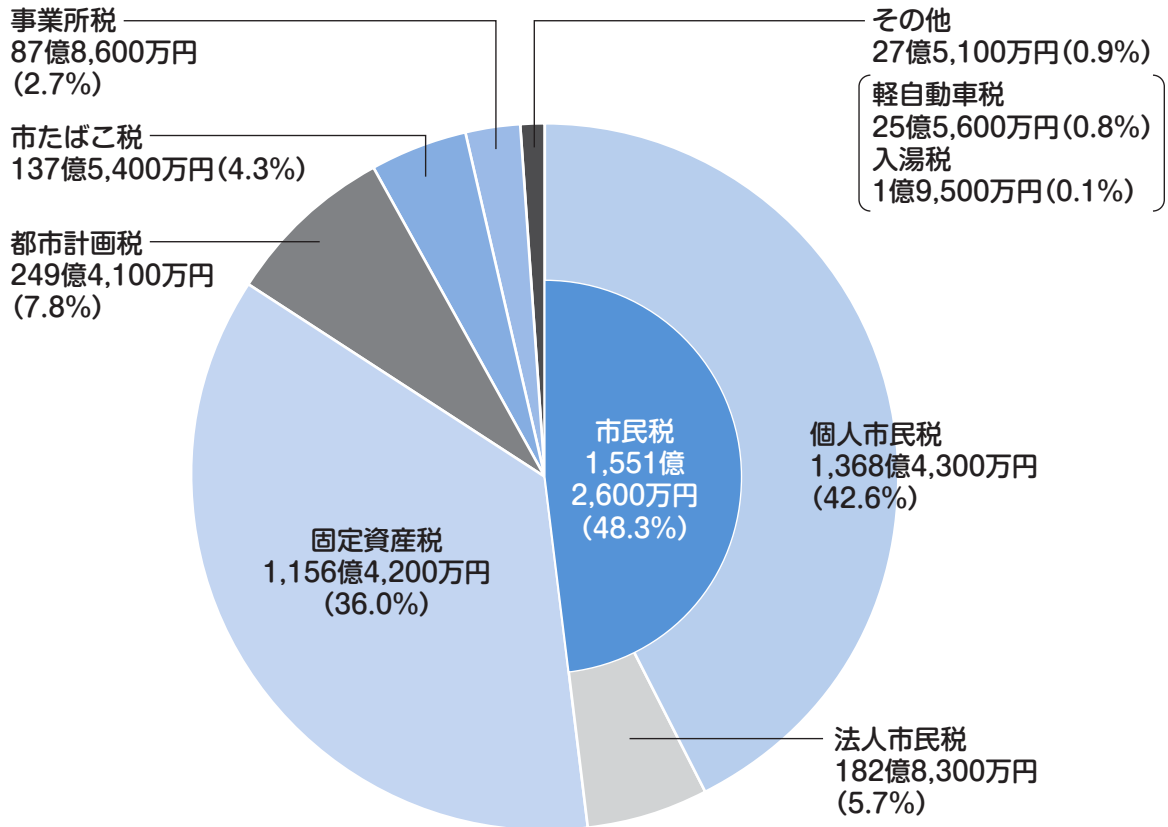
※標準的に建てた場合に比べて全体のエネルギー消費量を年間 50%以下まで削減した建物

## 市税収入とそのゆくえ

### 令和3年度市税収入予算額

令和3年度市税予算額は、3,210億円（前年度比4.6%減）で、このうち、私たちにとって最も身近な市民税と固定資産税だけで、市税収入全体の84.3%を占めています。

### 市税予算の内訳（令和3年度市税予算額総計…3,210億円）



(注) 7~8ページの文中およびグラフ中の数値は、原則として各計数ごとに四捨五入をして計算しています。したがって、文中およびグラフ中の数値とその内訳の合計値とは一致しない場合があります。

### 市

### 札幌市が市民1人当たりに行う仕事

市民の皆さまに納めていただく市税額を、1人当りに換算すると162,535円となります。これに対し、札幌市が行う仕事は、一般会計だけで市民1人当たり564,063円となります。

この1人当たりの市税額と仕事額の差は、市税以外の地方交付税や国庫支出金、市債などの財源でまかなわれています。

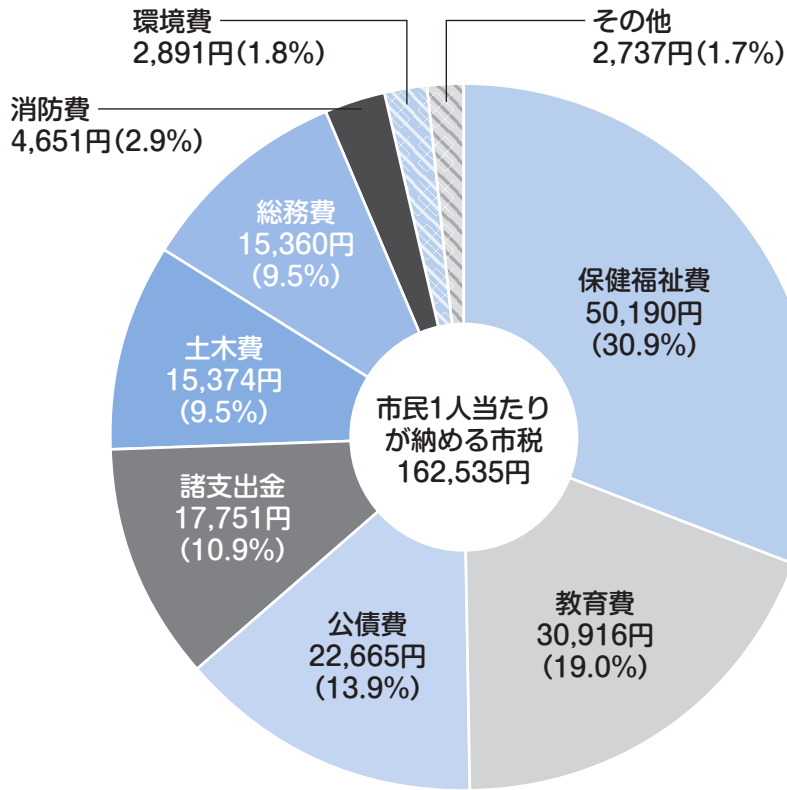
### 市民1人当たりが納める市税と札幌市が市民1人当たりに行う仕事

市民1人当たりが納める市税	162,535円
札幌市が市民1人当たりに行う仕事	564,063円

(注) 1人当たりの金額は、令和3年度市税予算額（3,210億円）、一般会計当初予算額（1兆1,140億円）を令和3年1月1日現在の人口（1,974,958人）で除して算出したものです。



**りが納める市 162,535 円のゆくえ**



(注) 一般会計当初予算のうち、一般財源の構成比から算出しています。

区分	主な内容
保健福祉費	社会福祉や児童福祉、生活扶助、医療助成や保健衛生など
教育費	学校や幼稚園の運営管理、生涯学習施設や図書館の運営管理など
公債費	市債の償還と利子などの支払
諸支出金	介護保険・後期高齢者医療などの特別会計、 上下水道事業・交通事業など企業会計への繰出金など
土木費	道路・橋などの建設、除雪、都市計画・再開発、水防対策、公園緑化、市営住宅など
総務費	市役所・区役所・区民センターの運営管理、女性活動の推進、文化施設の管理など
消防費	火災予防・消火、救急活動など
環境費	公害対策、ごみ処理、し尿処理など環境衛生
その他	経費、議会費、労働費、予備費